

## 第11回政策対話における一般傍聴者アンケート結果(抜粋)

問. 化学物質に係る取組など、今後の「化学物質と環境に関する政策対話」で取り上げて欲しい内容について

### 【今後の化学物質関連法令の方向性】

- ・法令の「わかりやすさ」について現状と課題を整理。

### 【自主的取組】

- ・全国の化学物質に関する取組事例の紹介（うまくいった事例、うまくいかなかった事例の双方）。

### 【リスクコミュニケーション】

- ・米国の Community Advisory Panel (CAP) 制度についてリスクコミュニケーターの育成について
- ・リスク管理（リスク＝ハザード×暴露量）の考え方の普及・啓発
- ・化学物質アドバイザー、環境カウンセラー等の有資格者の活用。

### 【表示・情報伝達】

- ・直接暴露の原因となる、化粧品や医薬品以外の家庭用品などに使用されている化学物質名の表示について提言をまとめてほしい。

### 【教育】

- ・教育に関する地方の取組事例の紹介。
- ・化学物質の正しい理解につなげていくための教育のあり方や具体的な事例紹介（好事例、事故や公害の双方）を示して、よい点、改善すべき点を議論してはどうか。

以上